

(作成年月日) 2021年8月5日

呼吸器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづき、医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 原発性肺癌 1A 期の区域切除術の症例において、赤外光胸腔鏡が再発に与える影響を調べる後ろ向き研究

[研究の目的] 早期原発性肺癌の 1A 期で、区域切除術を受けられた患者さんを対象として、インドシアニングリーン併用赤外光胸腔鏡という区域間を術中に蛍光する方法を用いることで術後5年間の再発に差がないかを調査し、区域切除術の治療方法の向上に役立てます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

原発性肺癌の患者さんで、2008年1月～2015年12月の間に呼吸器外科で区域切除術を受け病理病期 1A と診断された方

利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、組織型、術側、術式、腫瘍径、既往疾患、手術時間、出血量、術後合併症の有無、術後合併症の内容、喫煙の有無、赤外線胸腔鏡の有無、再発の有無、生存の有無

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院呼吸器外科 担当医師 三崎 伯幸

電話 087-898-5111 FAX 087-891-2016